

2022年6月8日

各位

広島県コンクリート診断士会
会長 十河 茂幸

第2回 国土交通省中国地方整備局と中国5県コンクリート診断士会との意見交換会
開催案内

拝啓 初夏の候、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、表題の件、事前の打ち合わせにご協力いただきありがとうございました。その内容を踏まえ国土交通省中国地方整備局様と協議させていただき、次の要領にて開催することになりましたので、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時：2022年6月27日（月） 13:30～16:00
2. 場 所：国土交通省 中国地方整備局 合同庁舎2号館7階 供用4号会議室
〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30
TEL：082-221-9231
※2号館1Fロビーに13:15までにご集合ください。
3. 出席者：(国土交通省 中国地方整備局)
道路部 道路保全企画官 梅田俊夫 様 他数名様
(中国5県コンクリート診断士会)
各県の会長及び副会長+オブザーバー（各県1名まで）
4. プログラム：

13:30～13:35	開会挨拶（診断士会代表者+出席者紹介）	5分
13:35～14:35	中国5県コンクリート診断士会活動報告 10分/県(発表は配布資料による) 50分 終了後、質疑応答10分 発表は五十音順でお願いします。 ①岡山県 ②島根県 ③鳥取県 ④広島県 ⑤山口県	60分
14:35～15:00	中国地方整備局からの情報提供	25分
15:00～15:30	質疑・応答他(国交省への質問及び要望)	30分
15:30～16:00	中国5県コンクリート診断士会連絡会	30分
5. 備考
 - ※1 国交省への質問及び要望等は6月13日（月）までに広島県コンクリート診断士会副会長の岡田(okada-s@jbec.or.jp)までメールでお寄せください。まとめたものを事前に先方に提出し会議の席で回答していただきます。
 - ※2 出席者を次ページの名簿に記入し6月17日までに事務局（広島県コンクリート診断士会 info@h-cd.jp）へ送ってください。
 - ※3 活動報告の発表は、配布資料（4枚/頁とし必要部数をコピーし配布）によるものとしパソコン（PPT）は使用しません。配布資料のデータを、6月22日までに事務局へ送ってください。

以上

第2回中国地方整備局と中国5県コンクリート診断士会との意見交換会に関する質問・要望事項

NO.	中国地整への質問・要望事項	回答	備考
1	「中国地方整備局におけるインフラメンテナンスの取組状況」について、各県コンクリート診断士会において講演をお願いしたい。中国5県については毎年開催するのは大変な労力を伴うので、開催方法、開催頻度についてはお任せします	○要望を頂ければ、講師の派遣・調整を行います。	
2	中国地整管内で実施された補修・補強工事において、再劣化の発生が多い構造物の種類及び部位等あれば御教授いただきたい。	○構造物の再劣化は橋梁に多く、塩害による損傷(うき、剥離・鉄筋露出)の断面修復箇所にも再劣化が多く見られており、原因は塩分の除去不足と推定。 ○橋台や橋脚梁部など水の影響を受ける箇所にはASR損傷の再劣化が多く見られる。	
3	コンクリート診断士は、国土交通省登録技術者資格のうち、業務区分「点検・診断」に登録されているが、「計画・調査・設計」には登録されていないため、補修設計業務には参加できない状況です。「計画・調査・設計」にも登録され、補修設計業務には参加できるようにすることを希望します。	○国土交通省登録技術者資格については、国土交通省本省で毎年公募し登録を更新しているところ。 ○公募時期は、令和3年度の実績で令和3年10月18日～11月19日。 ○コンクリート診断士については、公益社団法人日本コンクリート工学会より登録いただくようお願いいたします。 https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000098.html	資料1
4	コンクリート診断士の橋梁点検・診断業務での活用 ・総合評価業務において、管理技術者とはなれるものの追加点はありません(技術士:5、RCCM:3、その他:0)。以前はRCCMと同等の配点があつたと思いますが、配点が抹消された背景をご教示頂けないでしょうか。	○総合評価業務の技術者資格として(技術士:5、国土交通省登録資格:3、その他:0)を基本としている。 ○得点を求める場合は、業務に応募される技術者の資格の業務区分が、国土交通省登録資格に登録されている必要があります。	
5	6/21に開催されたコンクリートメンテナンス協会主催の「山陰(鳥取)フォーラム」において、令和5年度から橋梁点検業務において点検者の資格要件を厳格化していく旨の説明があつたかと思いますが、この件に関して具体的な方向性についてご教示頂けないでしょうか。	○令和5年度以降、直轄橋梁の点検・診断業務については、担当技術者にも一定の資格等の要件を定める予定です。	資料1-2
6	ICT技術等の活用について ・国土交通省発注の工事では、施工やその管理にもICT技術が活用されていますが、自治体の業務になると、その活用には未だ固かず従来からの施工管理がなされている様様です。各地方自治体に対し新技術への対応を指導していただけるようお願いしたい。	○建設現場の生産性向上及び働き方改革に大きく寄与するICT施工の拡大は重要と認識。 ○このため「Construction」推進計画を策定し、拡大策を計画的に推進しているところ。 ○特に、県及び市町村工事の受注者や未経験企業への普及拡大を図るため、各県単位での見学会や講習会を充実に実施しているところ。	資料1-3
7	既存構造物の点検・維持・修繕について ・中国地整管内の点検・補修・補強工事において採用された新技術・工法のうち、特長的なものがあれば紹介していただきたい。また、今後、既存の基準や工法などの変更が予定されている場合は、ご教示願いたい。	○中国地整管内の補修・補強工事として昨年度採用された新技術・工法は、高防錆型断面修復工法や含浸剤による劣化対策、支承の若返り工法などが比較的多く採用されており、経済性や品質が向上する技術の採用が多い傾向にある。 ○また、点検における技術としては近接目視の代替としてドローンを活用するものが増えてきている。 ○なお、本年度からは、橋梁及びトンネル点検における点検支援技術の原則化について事務連絡を発出しており、「点検支援技術性能カタログ」について積極的な活用をお願いする。	資料1-4
8	融雪剤について ・融雪剤による塩害の国交省の対策、例えば融雪剤の代替手段などについてご教示願いたい。また、塩害により劣化期(グレードIV)を迎えた構造物の取り扱いなどについて、事例を含めて考え方(方針等)をお聞かせください。	○中国地方における融雪剤対策として代替手段の活用はない。 ○また、塩害によるIV判定となった橋梁もない。 ○塩害の影響としては、PCT析、RCCMの下フランジ側面や下面付近に内部鉄筋やPC鋼材の腐食によるひびわれや剥離・鉄筋露出が生じている。 ○補修方法としては、断面修復(亜硝酸リチウム)、表面被覆が考えられるが、損傷が大きくなった場合には電気防食や炭素繊維補強(PC鋼材に減肉や破断等が生じ補強が必要となった場合)をおこなっている。	
9	補修工事の現地見学会を企画したいがなかなか良いフィールドがありません。コロナ禍の状況もありますが、見学会ができる施工現場を提供していただけたらと委員の皆さんも喜んで参加されたいと思っております。	○現地見学会の場所や時期並びに施工状況等の要望があれば、該当箇所の有無について情報提供をさせていただく。	
10	今後このような意見交換会を行っていただきたいと思っております。コロナ禍の状況もありますが、見学会が開催されることになればお聞かせ願いたい。	○コンクリート構造物の点検診断や補修補強の選定には、高い知識や技術力が必要である。各事務所で独自の勉強会を開催しており、そういった場において、技術的助言等、講話を行っていただけると、職員の技術力向上に繋がると思われる。機会があれば、ご協力をお願いしたい。 ○完成済み構造物の点検、補修に留まらず、新設工事の不具合が発生した場合にも助言を求めるともあろうかと存じますのでよろしくお願いたい。	

令和4年度中国5県コンクリート診断士会協議会 議事録(案)

- 【日 時】： 令和4年12月13日(火) 13:30～16:00
【場 所】： (株)エイト日本技術開発 松江支店
【出席者】： 別紙-1
【資 料】： 資料-1 R4年度意見交換会開催案内
資料-2 R4年度意見交換会出席者名簿
資料-3 意見交換会事前会議議事録(4/7)
資料-4 R4年度意見交換会質問・要望事項
資料-5 意見交換会(実績・予定)

【議 事】

1. 合意事項の確認

- 1) 中国5県コンクリート診断士会意見交換会事前会議(4/7)
 - ・中国地整との意見交換会の開催に合意
 - ・上記開催前に打ち合わせ会議を行う
 - ・中国地整との日程調整は十河会長が行う
- 2) 意見交換会後の連絡会での合意事項(6/27)
 - ・次回以降の意見交換会での「質問・要望」については、作業部会を設け事前に検討を行う。
 - ・意見交換会の交渉窓口は「広島県コンクリート診断士会事務局」で行う。
 - ・「(仮)中国5県コンクリート診断士会議」を開催する。開催方法及び時期等については、素案を作成し広島県コンクリート診断士会の岡田より、各診断士会へ打診を図る。

2. R5年度中国地整との意見交換会

- 1) R5年度予定⇒資料-5の内容を確認
 - ・広島県コンクリート診断士会事務局を窓口とし、資料-5の行程を踏まえ中国地整との交渉を行う。
- 2) 質問・要望作成 WG
 - ・各県リーダーを12月/末迄に選任し岡田まで連絡。既決⇒広島県(岡田)、岡山県(海野)
 - ・WGキックオフ会議(Web会議)⇒2023年1月開催、議題:質問・要望事項のテーマ
 - ・上記テーマを踏まえ各県において質問・要望事項の収集を実施し、資料-5の行程を目標にWGを開催

3) 意見交換会の内容

- ・出席者:3名/各県、時間:2時間
- 13:30～13:35 開会挨拶(診断士会代表者) 5分
- 13:35～14:35 中国5県コンクリート診断士会活動報告 10分×5県=50分
 - 前半5分:各県診断士会の紹介⇒統一内容とする
 - 後半5分:各県オリジナルを作成
- 終了後質疑応答 10分
- 14:35～15:00 中国地方整備局からの情報提供 25分
- 15:00～15:30 質疑・応答(国交省への質問及び要望) 30分

3. 中国5県コンクリート診断士会協議会

- ・上記名称を正式決定
- ・開催時期⇒毎年秋頃
- ・開催場所⇒2022年島根県(済み)、2023年岡山県、2024年鳥取県、2025年度山口県、2026年広島県

(文責:岡田)